

軍事より憲法生かせ

憲法会議シンポから

安保関連法やめさせる

2022年12月に、岸田文雄政権のもと「安保3文書」がつくられ、大軍拡が始まりました。5年間で軍事費43兆円を掲げ、国内総生産（GDP）比の2%を目標値にしましたが、高市早苗政権となり、今年度の予算水準でいけば前

倒しでほぼ達成してしまします。トランプ米大統領は、日本に対しGDP比3・5%を要求しており、日本政府は軍事予算をさらに引き上げるために、安保3文書を再改定して、限らない大軍拡を続けよう



憲法会議代表委員・東海大教授

永山茂樹さん

しています。

高市内閣のもとで、武器輸出の制限をさらにゆるめ、傷能力のある武器を輸出しようとしています。私たちが生産したもので他国の人命を奪うこととなります。

日本の自衛隊の力を強け、米国と一体で「戦争する国づくり」がさらに進展しています。日米は「台湾有事」を頭に置いた共同作戦計画をつくったといわれており、の根拠となる安保関連法やめさせなくてはなりません。

自民・維新の連立政権入書によると、維新の「軍と自衛隊」を憲法に明記するという提案を、自民党が丸べした9条改憲を狙っていることを認識しなければなりません。

社会保障切り捨てノ

3月に、日本病院会など6病院団体が「ある日突然、病院がなくなります」という衝撃的なメッセージを発信しました。昨年度の医療機関の倒産は過去最高の64件で、今年度は上半期だけですでに35件倒産しており、東京でも24時

間体制で、救急患者を受け入れていた地域の災害拠点病院が休止に追い込まれました。

民医連の病院経営状況アンケートでは、7割が赤字だと

して、診療報酬の大幅引き上げや緊急の財政支援を訴えて



全日本民医連事務局次長

山本淑子さん

います。医療機関が経営になれば、国民の医療を受ける権利が奪われます。

自民・公明・維新3「医療費4兆円削減」などで、11万床もの病床やを減らし、高齢者医療費負担を増やして、いっ治療を受けにくくしようとしています。

わたしたちは「地域住民医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存の支援を求める請願署名取り組み、56万筆を突破した。

戦争国家づくりの予算やしながら、社会保障を捨てる政治にノーを突き、命を奪う戦争政策でく、命を守る社会保障のに何をすべきか一緒に考えていきたいです。

若者に暮らしの希望を

安倍(晋三)政権支持者が自民党を大きく離れたこと、ネット右翼が若者を引きつける力を持っているということが大事です。

7月の参院選では補完勢力と呼ばれる維新の会、国民民主党、参政党、保守党が4党

合計で最多得票となりました。自民党から戦前を礼賛するような「安倍色」が後退し、安倍政権のとき自民党を支持していた人たちは参政や国民に流れました。

自民党離れが顕著なのは若い人です。若い人たちは右翼



神戸女学院大名誉教授

石川康宏さん

勢力のネットを活用するパワーに引きつけられています。軍拡・改憲・復古で「安倍色」に乱暴に回帰しようとしている高市早苗政権の支持率は若い人で非常に高いです。若い人は初めて政治に期待するからです。若者が政治に期待するものはくらしの改善で、報われない生活がこの先50年も60年も続く絶望感を打破してもらいたいという願いを強く持っています。

若い人と排外主義について話したとき、異文化を受け入れられる余裕が乏しいのは貧困もあるけど、競争のなかで他人のことを思う心のゆとりが十分ないと聞きました。若い世代にとって希望が見えるくらし改革の展望を示すことが大事です。

労組で仲間と声あげる

憲法には、働く私たちを守るための大切な約束が書かれており、希望そのものです。しかし若い世代の現実はこの希望から遠く離れていきます。

若い人たちは声を上げたくないのではなく、声を上げら

れない状況に置かれていることに着目する必要があります。相談相手がいないかつたり、非正規雇用で声を上げれば雇用不安があるということだったり、嫌なら転職すればいいという風潮は一人の人間として労働者として



全労連常任幹事・青年局長

稲葉美奈子さん

大切にされていないというさびしさを植え付けています。個々に分断されて権利が「使えない」状態、対抗する力の外に置かれていることが問題です。権利があったとしても使うことが難しく、声を出しにくくしています。

この乖離をどう埋めていくか。労働組合こそが若者にとって確かな希望です。労働組合は一人では言えないことを、仲間と一緒に言うことができます。一人だと届かなかった要求が届くと知り、孤立が連帯に変わるときに権利が息を吹き返します。労働組合を、働く誰もが輪に入れる場、安心して語りあえる場として、職場・地域の数だけ再構築することが求められています。